

2024年11月28日
学校法人 八洲学園
理事 林 周剛
(八洲学園高等学校 校長)

エコーペットビジネス総合学院の運営譲渡計画について

○経緯説明

2024年6月11日

八洲学園高等学校の技能連携校であるエコーペットビジネス総合学院 代表者が来校。エコーペットビジネス総合学院の運営譲渡に関する相談がありました。

相談内容

- ・エコーペットビジネス総合学院を2025年度末で募集停止する。(1年半後)
本社の方針で会社として学校業務では収益を見込めない為。
- ・現在、エコーペットビジネス総合学院で勤務している教職員で学校存続の道を探している。
※エコーペットビジネス総合学院の運営譲渡先の学校法人を探している。
- ・八洲学園高校とは2007年度から17年間技能連携の関係を結ばせて頂いているので、
まず八洲学園に検討を頂けないかというお願いをさせて頂いた。

相談後、各種諸条件（収益状況、運営譲渡に際しての資産等の取り扱い、人事労務関係）を、複数回ヒアリングを重ね確認を行いました。

※諸条件については添付資料に記載

また、学校法人運営に移管した場合、兵庫県に対し専修学校の認可申請を行うことにより経営改善を目指す計画である為、兵庫県に対し複数回折衝し現時点で認可の見込みがあるかの確認も行いました。

現時点では、賃貸物件であっても20年以上の賃貸契約（賃借権）が確認できれば、今までの兵庫県下でのエコーペットビジネス総合学院の教育実績を鑑み、認可に関して大きな障害は無いとの回答を得ています。

○八洲学園高等学校との連携実績

技能連携開始年月日 2007年4月1日～ 現在に至る（連携期間17年8か月）
延べ生徒数 535名 卒業生 347名

生徒数※過去5年推移（定員180名）

2024年度77名、2023年度107名、2022年度125名、2021年度140名、2020年度95名

エコーペットビジネス総合学院は17年間、技能教育制度により八洲学園高等学校と連携させて頂いている学校で、教育内容はペットの飼育員、トリマーやトレーナーなどの養成をしている学校です。全国的にもペットの教育内容で高等課程を設置し、技能連携を実施できている学校はほとんどありません。

ただ、ここ数年は平均100名を超える生徒数を確保していましたが、今年度は生徒数が減少しました。現象の要因はペット業界やペットに関する教育ニーズの減少によるものではなく、運営会社（エコートレーディング株式会社）による経営方針（教育事業以外のコア部門へリソースを集中）に伴う影響が大きいと考えられる。

八洲学園高等学校としては、兵庫県尼崎市において全国的にも希少なペット飼育や医療に関する教育機関であるエコーペットビジネス総合学院との連携は、今後も有用であり、また年間平均100名の生徒が八洲学園高等学校の在校生として在籍して頂いている状況を鑑み、引き続きエコーペットビジネス総合学院の運営継続および連携を期待しています。

以上